

付表1 平成13年度健康項目環境基準値超過地点一覧

1. 全シアン (環境基準値: 検出されないこと)

県名	水域名	地点名	最大値 mg/L	平均値 mg/L	m/n	原因	対策
茨城県	みやたがわ 宮田川	みやたがわばし 宮田川橋	0.19	-	1 / 12	原因不明	周辺事業場へ排水管理の指導

2. 鉛 (環境基準値: 0.01mg/L以下)

(自然由来)

県名	水域名	地点名	最大値 mg/L	平均値 mg/L	m/n	原因	対策
宮城県	はざまがわ 迫川中流	くほばし 久保橋(最下流)	0.074	0.032	12 / 12	公共用水域の監視強化	
秋田県	たかまつがわ 高松川	すかわばし 須川橋	0.019	0.011	7 / 12	継続監視	
長崎県	しいねがわ 椎根川	おにがさいきわ 鬼ヶサイ沢下流	0.032	0.012	6 / 12	継続監視	

3. 砒素 (環境基準値: 0.01mg/L以下)

県名	水域名	地点名	最大値 mg/L	平均値 mg/L	m/n	原因	対策
大分県	やさかがわ 八坂川	だいらさかばし 大左右橋	0.020	0.015	5 / 6	休廃止鉱山排水	対策検討のための調査を実施中
大分県	やさかがわ 八坂川	ながせばした 永世橋下	0.019	0.014	3 / 4	休廃止鉱山排水	対策検討のための調査を実施中
宮崎県	いわとがわ 岩戸川	とうがんじょうすい 東岸寺用水取水点	0.047	0.033	6 / 6	休廃止鉱山排水	鉱害防止工事を実施中
宮崎県	いわとがわ 岩戸川	いわわようすい 岩川用水取水点	0.040	0.031	6 / 6	休廃止鉱山排水	鉱害防止工事を実施中

(自然由来)

県名	水域名	地点名	最大値 mg/L	平均値 mg/L	m/n	原因	対策
北海道	ひやみずがわ 冷水川	とどろきつむらかんすい 榎法華村簡水 北部浄水場取水口	0.015	0.013	5 / 6	監視強化	
北海道	あかいがわ 赤井川	あかいばし 赤井橋	0.025	0.020	5 / 6	詳細調査を実施中	
宮城県	えきしがわ 江合川上流	なるこ 鳴子ダム流入部 (大深沢)	0.022	0.018	6 / 6	公共用水域の監視強化	
神奈川県	はやかわ 早川	はやかわばし 早川橋	0.018	0.013	8 / 12	継続監視	
神奈川県	はやかわ 早川	かんこうかいかんまえ 観光会館前	0.033	0.017	10 / 12	継続監視	
山梨県	しあかわ 塩川	しあかわ 塩川ダム貯水池	0.022	0.013	11 / 12	公共用水域の監視強化	
長野県	よませがわ 夜間瀬川	よませばし 夜間瀬橋	0.039	0.026	12 / 12	公共用水域の監視強化	
長野県	たてしなこ 蓼科湖	たてしなこ 蓼科湖	0.015	0.012	6 / 12	公共用水域の監視強化	
兵庫県	いくたがわ 生田川	おのえばし 小野柄橋	0.014	0.013	2 / 2	継続監視	
山口県	たかせこ 高瀬湖	SC-1	0.060	0.014	2 / 6	継続監視	
大分県	あさみがわ 朝見川下流	とうすけばし 藤助橋	0.050	0.022	5 / 6	公共用水域の監視強化	
大分県	ましがたわ 町田川	くぐりいしばし 潜石橋	0.025	0.022	6 / 6	公共用水域の監視強化	
鹿児島県	なかつがわ 中津川	いぬかいばし 犬飼橋	0.016	0.012	7 / 12	公共用水域の監視強化	

(備考) 1. 環境基準値超過地点は、同一測定点における年間の総検体の測定値の平均値が、環境基準値を超過した地点である。
ただし、全シアンにあっては、1検体でも環境基準値を超過した地点である。
2. m/nは、(環境基準値を超える検体数)/(総検体数)である。

4. 1,2-ジクロロエタン (環境基準値：0.004 mg/L以下)

県名	水域名	地点名	最大値 mg/L	平均値 mg/L	m/n	原因	対策
愛知県	あらかがわ 荒子川	あらかがわ 荒子川ポンプ所	0.019	0.0077	2/4	原因不明	高濃度に汚染された底質を浚渫した

5. 1,3-ジクロロプロペン (環境基準値：0.002 mg/L以下)

県名	水域名	地点名	最大値 mg/L	平均値 mg/L	m/n	原因	対策
奈良県	くまのがわ 熊野川上流	おぼらばし 小原橋	0.013	0.0066	1/2	原因不明	監視強化

6. 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (環境基準値：10 mg/L以下)

県名	水域名	地点名	最大値 mg/L	平均値 mg/L	m/n	原因	対策
千葉県	たかだがわ 高田川	しらし 白石取水場	16	14	4/4	肥料及び家畜排泄物と推定	改善指導
福井県	おしょうずがわ 御清水川	御清水川(水門)	24	20	4/4	事業場排水	改善指導

7. ふっ素 (環境基準値：0.8 mg/L以下)

県名	水域名	地点名	最大値 mg/L	平均値 mg/L	m/n	原因	対策
栃木県	しんがわ 新川	みなみまちにし 南町西	1.4	0.84	1/2	事業場排水	改善指導
長崎県	にしおおかわ 西大川	こうそくどう 高速道下流	4.5	2.6	6/6	事業場排水	排水基準以下であるが、改善措置を指導

(自然由来)

県名	水域名	地点名	最大値 mg/L	平均値 mg/L	m/n	対策
兵庫県	ありまがわ 有馬川	ながおまほし 長尾佐橋	1.2	1.2	2/2	継続監視
兵庫県	にがわ 仁川	かぶとやまほし 甲山橋	1.2	1.0	1/2	継続監視
兵庫県	仁川	じゅうりんじほし 鷲林寺橋	1.3	1.3	2/2	継続監視
兵庫県	いくたがわ 生田川	おのえほし 小野柄橋	1.0	0.90	1/2	継続監視
兵庫県	ふなさかがわ 船坂川	船坂橋	1.1	1.1	2/2	継続監視
熊本県	くまがわ 黒川	しろかわ 白川合流前	1.2	1.0	3/4	継続監視

(この他、海水の影響によるもの6件)

8. ほう素 (環境基準値：1 mg/L以下)

県名	水域名	地点名	最大値 mg/L	平均値 mg/L	m/n	原因	対策
栃木県	しんがわ 新川	みなみまちにし 南町西	4.4	2.7	1/2	事業場排水	改善指導
千葉県	しおいらがわ 汐入川	かなめほし 要橋	3.1	1.1	1/4	原因不明	追跡調査を実施中

(自然由来)

県名	水域名	地点名	最大値 mg/L	平均値 mg/L	m/n	対策
大阪府	ひがしまきおがわ 東横尾川	とうじょうほし 東条橋	1.9	1.2	1/2	詳細調査を実施した

(海水の影響によるもの119件)

- (備考) 1. 環境基準値超過地点は、同一測定点における年間の総検体の測定値の平均値が、環境基準値を超過した地点である。
2. m/nは、(環境基準値を超える検体数)/(総検体数)である。

付表2 環境基準満足度上位水域（ベスト5）

1. 河川のBOD上位水域（ベスト5）

（1）平成13年度順位

順位	あてはめ水域名	類型	地点数	都道府県名	BOD (mg/L)		
					年間平均値	最大値	最小値
1	とまこまいほろないがわ 苦小牧幌内川上流	A A	1	北海道	< 0.5	< 0.5	< 0.5
"	とまこまいがわ 苦小牧川上流	A A	1	北海道	< 0.5	< 0.5	< 0.5
"	こあらかわ 小荒川上流	A	1	青森県	< 0.5	< 0.5	< 0.5
4	あきがわ 安芸川	A	1	高知県	0.5	0.6	< 0.5
"	しゅうしがわ 舟志川	A	1	長崎県	0.5	0.5	< 0.5

（2）平成12年度順位

順位	あてはめ水域名	類型	地点数	都道府県名	BOD (mg/L)	
					平成12年度平均値	平成13年度平均値
1	れきふねがわ 歴舟川下流	A	1	北海道	< 0.5	0.6
2	きたみほるべつがわ 北見幌別川下流（2）	A A	1	北海道	0.5	0.7
"	ひろおがわ 広尾川上流（2）	A	1	北海道	0.5	0.6
"	なちがわ 那智川 （いちののぼし 市野々橋から下流）	A	1	和歌山県	0.5	0.7
"	きたがわ 北川上流	A	1	宮崎県	0.5	0.5

- （備考）1. 生活環境項目に係る全ての個別の測定値が環境基準を満足している水域のうち、BODの年間平均値が小さいものから順位を付した。
2. 最大値、最小値は、日間平均値の最大値、最小値である。

2. 湖沼のCOD上位水域（ベスト5）

（1）平成13年度順位

順位	あてはめ水域名	類型	地点数	都道府県名	COD (mg / L)		
					年間平均値	最大値	最小値
1	くつたらこ 倶多楽湖	AA	2	北海道	0.6	0.9	< 0.5
2	いなこ 猪名湖	A	1	長野県	1.5	2.0	1.0
3	いわみ 岩見ダム	A	1	秋田県	1.6	2.3	1.0
〃	さるとに 猿谷ダム湖	A	1	奈良県	1.6	2.0	1.0
5	ありみね 有峰ダム貯水池 (有峰湖)	A	1	富山県	1.8	2.9	1.1

（2）平成12年度順位

順位	あてはめ水域名	類型	地点数	都道府県名	COD (mg / L)	
					平成12年度平均値	平成13年度平均値
1	しこつこ 支笏湖	AA	2	北海道	0.7	0.7
2	いけはら 池原ダム湖	A	1	奈良県	1.0	1.0
3	しかりべつこ 然別湖	A	2	北海道	1.5	2.7
4	ありみね 有峰ダム貯水池 (有峰湖)	A	1	富山県	1.6	1.8
5	さるとに 猿谷ダム湖	A	1	奈良県	1.7	1.6

- (備考) 1. 生活環境項目に係る全ての個別の測定値が環境基準を満足している水域のうち、CODの年間平均値が小さいものから順位を付した。
2. 最大値、最小値は、日間平均値の最大値、最小値である。

付表3 BOD又はCOD高濃度水域(ワースト5)

1. 河川のBOD高濃度水域(ワースト5)

(1) 平成13年度順位

順位	あてはめ水域名	類型	地点数	都道府県名	年間平均値 (75%値) (mg/L)	最大値 (mg/L)	最小値 (mg/L)	X / Y	12年度 順位
1	はるきがわ 春木川	E	1	千葉県	1.8 (18)	2.9	1.3	12/12	3
2	べんてんがわ 弁天川	C	1	香川県	1.7 (20)	4.0	5.7	12/12	1
3	かしいがわ 榎井川下流	E	1	大阪府	1.5 (18)	3.2	8.9	7/12	1.1
4	こくぶがわ 国分川	E	1	千葉県	1.4 (16)	1.7	1.0	11/12	2
"	みでがわ 見出川	E	1	大阪府	1.4 (14)	3.0	8.4	8/12	8
"	にしよげがわ 西除川(2)	D	1	大阪府	1.4 (16)	2.3	8.6	12/12	1.1

(2) 平成12年度順位

順位	あてはめ水域名	類型	地点数	都道府県名	平成12年度 平均値(75%値) (mg/L)	平成13年度 平均値 (mg/L)	13年度 順位
1	べんてんがわ 弁天川	C	1	香川県	1.9 (25)	1.7	2
2	こくぶがわ 国分川	E	1	千葉県	1.7 (18)	1.4	4
3	ふるうがわ 不老川	E	1	埼玉県	1.6 (12)	1.1	1.2
"	はるきがわ 春木川	E	1	千葉県	1.6 (18)	1.8	1
"	ひがしよげがわ 東除川	C	1	大阪府	1.6 (17)	1.3	7

- (備考) 1. BODの年間平均値の高いものから順位を付した。
 2. 最大値、最小値は、日間平均値の最大値、最小値である。
 3. X / Yは、(日間平均値が環境基準を超える測定日数) / (日間平均値の総測定日数)。

2. 湖沼のCOD高濃度水域（ワースト5）

（1）平成13年度順位

順位	あてはめ水域名	類型	地点数	都道府県名	年間平均値 (75%値) (mg/L)	最大値 (mg/L)	最小値 (mg/L)	X / Y	12年度 順位
1	きなるこ 佐鳴湖	B	1	静岡県	12 (13)	19	8.4	12/12	2
2	てがぬま 手賀沼	B	1	千葉県	11 (13)	27	4.3	22/24	1
3	いんばぬま 印旛沼	A	1	千葉県	9.5 (10)	19	5.2	24/24	3
4	はるとりこ 春採湖	B	2	北海道	9.2 (10)	12	7.4	16/16	10
5	いずぬま 伊豆沼	B	1	宮城県	8.8 (10)	11	6.3	12/12	6
〃	はちろうこ 八郎湖	A	3	秋田県	8.8 (16)	22	3.8	30/30	10
〃	あぶらがふち 油ヶ淵	B	1	愛知県	8.8 (9.9)	15	5.6	24/24	8

（2）平成12年度順位

順位	あてはめ水域名	類型	地点数	都道府県名	平成12年度 平均値(75%値) (mg/L)	平成13年度 平均値 (mg/L)	13年度 順位
1	てがぬま 手賀沼	B	1	千葉県	14 (15)	11	2
2	きなるこ 佐鳴湖	B	1	静岡県	12 (13)	12	1
3	いんばぬま 印旛沼	A	1	千葉県	10 (11)	9.5	3
4	ながぬま 長沼	B	1	宮城県	9.6 (10)	7.3	13
5	ひぬま 湊沼	B	3	茨城県	9.5 (11)	6.8	15

- (備考) 1. CODの年間平均値の高いものから順位を付した。
 2. 最大値、最小値は、日間平均値の最大値、最小値である。
 3. X / Yは、(日間平均値が環境基準を超える測定日数) / (日間平均値の総測定日数)。